



TITLE:

神戸に於ける本會の總會：概況報告

AUTHOR(S):

CITATION:

神戸に於ける本會の總會：概況報告. 天界 1943, 23(265): 216-216

ISSUE DATE:

1943-07-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168632>

RIGHT:

7	オリエンタル 1200青	カビネ	皆既	60秒目	開放	$\frac{2}{3}$ 秒	
8	さくらの 三色フィルム	〃	〃	80秒目	〃	〃	
9	オリエンタル 1200青	〃	〃	100秒目	〃	$\frac{1}{2}$ 秒	
10	オリエンタル プロセス	手札	部分蝕	生光1分後	4センチ (f70)	$\frac{1}{80}$ 秒	橙 色 フィルタ
11	〃	〃	〃	〃 5分後	〃	$\frac{1}{40}$ 秒	〃
12	オリエンタル 1200青	カビネ	豫備	皆既中餘裕有る場合使用			
13	〃	〃	〃	其他臨時の補填用			

(つづく)

神戸に於ける本會の總會

(概況報告)

既報の如き次第を以つて、本會は去る六月27日13時から、神戸市神戸國民學校内に於いて、通常總會を開いた。神戸支部員諸氏の熱心なる準備により、定刻までに萬端が整ひ、12時過ぎから各地の會員が参集し、中には和歌山、廣島、愛媛あたりより來られし顔も見え、盛況であつた。

會は宮森理事長を座長として開かれ、まづ

山本會長の記念講演“天文學と國民性”があつた。會長はスペイン、イタリヤ、ドイツ、フランス、アメリカ、イギリス、ロシア等の各國に於ける天文學と學者と其の國民性について、歴史的に、又、性格批評的に論述され、我が日本の天文學界を警戒された。次いで

木邊觀測部長が“北海道の日蝕について”報告講演をされた。同氏の觀測計畫と器械設備、觀測概況から、その美しい成果を、みごとなコロナやプロミネンスの寫眞によつて示された。それから

中村事務理事の事務報告があつて、近年の頗る好況を語られた。次ぎに

高城教育部長は“最近の天文教育について”興味深く所懐を述べられた。氏の要旨は、1. 天文教育、2. 防空天文學、3. 航海空天文學、4. 作戦天文學、5. 南天の開拓の五項目について多くの暗示を與へられた。最後に、

木部部長は艫座新星の發見者中原千秋氏への表彰狀(別頁所載)を公表され、尙これに因んで **山本會長**は同星の獨立發見者15氏の報告から作つた光度曲線を解説された。

この機會に、本會の役員改選が行はれたが、その結果、會長及び諸役員は全部重任となり、只、**副會長**には木邊成磨氏と清水眞一氏とが挙げられたことだけが新しい態勢であつた。

會は17時に閉會し、尙、暫く相互の歡談が交はされた。(事務局)